

国見ルネサンス 2016

ふるさと祭

～ずっと好きです 国見町～

私たちのふるさと「国見」

国見町には歴史、文化、伝統など先人たちが築いてきた「たからもの」が溢れています。町の魅力を再認識するために「ふるさと祭」が今年も開催されました。会場に集った参加者はさまざまな形でふるさとへの愛情を表現しました。



復興・再生メッセージを発表



◀▲フィナーレではステージと客席が一体となり「ふるさと」を合唱

国見ルネサンス2016ふるさと祭が6月5日、観月台文化センターで開催されました。今年のふるさと祭は、ホールでのステージイベントをメインに、ロビーでは国見町に関するパネル展示、屋外ではグルメブースが設けられ、多くの人で賑わいました。

くにみ幼稚園の英語のあいさつを取り入れたダンスで元氣よくスタートしたステージは3部構成で行われ、第1部では「語り継がれる想い」をテーマに、錦町太鼓保存会、内谷春日神社太々神楽保存会、古典鑑賞会のみなさんが伝統芸能を披露しました。

第2部では、各文化団体が「ふるさとへの想い」をテーマに、歌や楽器演奏などでふるさとへの愛情を表現しました。また、スペシャルゲストとして「ダ・カーポ」が登場しました。ゲストステージでは2人の透明感あふれるハーモニーが会場に響き渡り、来場者を魅了しました。

第3部では、県北中学校3年の村田柚那さん、商工会青年部長の大和田健智さん、国見フラウエンの羽根田ヒサさん、石川美奈さん、阿部紀子さんが復興・再生メッセージを発表しました。フィナーレでは、会場が一体となり「ふるさと」を合唱しました。

町民のみなさんがふるさとを想い作りあげたステージを見て、来場者は町の魅力を再認識し、ふるさとへの想いを共有する機会となりました。

◀スペシャルゲスト「ダ・カーポ」が美しいハーモニーで会場を盛り上げた▼ふるさとへの想いをのせた各団体のステージ

